

# 男鹿・潟上・南秋田の おもな文化財

## 神明社 観音堂

[国重要文化財]

潟上市



もともとは八郎潟東岸にあったと伝えられる小さなお堂です。地方色豊かで、室町末期の建築様式を伝える数少ない建造物です。

## 男鹿のまるきぶね

[国重要有形民俗文化財]

男鹿市

一本の秋田杉をくり抜いて造った丸木舟です。船体が厚く継ぎ合わせがないことから、岩礁の多い男鹿の海には最適だったと思われます。

## とうこやさかじんじゃさい 東湖八坂神社祭の トウニン(統人)行事

[国重要無形民俗文化財]

男鹿市・潟上市

ヤマタノオロチ伝説と八郎潟周辺に伝わる水神信仰が習合した行事です。7月7日の祭では、黒牛に乗って練り歩く「牛乗り」や「くも舞」が行われます。

ひくめざわ

## 福米沢の送り盆行事

[県指定無形民俗文化財]

男鹿市

ネジョレ(新精霊)と先祖供養の行事で、若者たちが笛・太鼓・ささらを墓地で囃し、夜には盆踊りが行われます。

## 脇本城跡

[国史跡]

男鹿市



安東愛季が1577年ころに整備したとされる、東北最大級の中世城館跡です。城跡からの日本海や烏海山の眺望は、この地を統治しようとした安東氏の心意を感じるすることができます。

## ますかわはちまんじんじゃくうでん 増川八幡神社宮殿

[県指定有形文化財]

男鹿市

宮殿とは神社の本殿に安置された厨子のことです。県内では数少ない室町時代の建築とみられ、細部にも優れた意匠が施されています。

## いしがわりぎのすけ 石川理紀之助遺跡

[県指定史跡]

潟上市

農聖といわれた石川理紀之助にかかわる建物が遺されています。また、隣接する郷土文化保存伝習館には、蔵書や遺稿が多数保存されています。

## 青サギ群生地

[県指定天然記念物]

男鹿市

アオサギは春に南方から飛来する大型のサギで、本山中腹の秋田杉天然林での集団営巣が確認され、県の天然記念物に指定されました。現在は、県内数箇所ではアオサギの集団営巣地が確認されています。

## 男鹿のコウモリ生息地

[県指定天然記念物]

男鹿市

門前から船で20分のところにある蝙蝠窟と孔雀窟の2つの洞窟にコウモリが生息しています。江戸時代の紀行家・菅江真澄も訪れたと記録されています。

## 中山遺跡出土品

[県指定有形文化財]

五城目町



縄文時代後期から晩期にかけての遺跡で、多くの漆製品が出土し、当時の漆工技術を知る上で大変貴重な資料になっています。

## こいけいたびぐん 小池板碑群

八郎潟町

板碑は、死者の冥福を祈るために建てられたもので、ここでは72基がまとまって保存されています。菅江真澄の『ひなのあそび』には小池石仏庵の石群として記録されています。

## すざき 洲崎遺跡

井川町

鎌倉時代中期の八郎潟周辺の集落の姿を伝える大規模な遺跡です。出土品の中には珍しい人魚供養札もあり、注目されました。

## 秋田県埋蔵文化財センター 中央調査課 男鹿整理収蔵室

男鹿市

旧男鹿高校跡地に平成17年度に開所した、発掘成果の展示・活用・収蔵のための施設です。火おこし体験など気軽に古代の秋田に触れることができます。